



東っこ通信 2018

みやき町立三根東小学校
学校だより No.16
平成30年12月20日(木)
校長 築波 真史

学校教育目標

＜豊かな心を持ち、自ら学び、進んで行動する児童の育成＞
～夢にチャレンジ東っ子～

2学期子どもたちはたくましく成長することができました

いよいよ2学期も最後の週となりました。今日を入れて残り2日、明日21日(金)は2学期の終業式を迎えます。天候が不順で気温の変化も多く、時々体調を崩す子どもも目立った2学期でしたし、今月に入って4年生にインフルエンザの罹患者が急が増え、学級閉鎖を行いました。幸い他の学年への感染の拡大もなく、兄弟姉妹のいるご家庭でもしっかりと感染拡大に気を付けていただいたおかげで、今週には4年生も元気に登校してきており、元気に学期末を迎えられてほっとしています。また、先日は年末の大変お忙しい中、学期末のPTA学級懇談会へお越しいただきありがとうございます。各担任から2学期の学校での学習や生活の様子についての説明があったかと思いますが、疑問に思われたことやご意見などありましたら、各担任または教務主任・教頭へ申し出ていただければと思います。

また、紹介が遅くなりましたが、12月4日(火)～5日(水)には、佐賀県学習状況調査が全県一斉に行われ、本校でも4年生以上の学年が国語・社会・算数・理科の4教科についての学力調査テストを受けました。これは、4月の全国調査及び県調査と合わせて年間2回(4年生は1回)、小学4年生以上の児童生徒の学習状況を確認することにより、各学校で指導方法の改善や児童の生活実態と学力との関係を調査するものです。現在採点中であり、このあと県に提出し、年明けには県全体の結果も明らかになると思います。結果については3学期に報告いたします。



さて、先日実施した学校評価アンケート及び教職員の指導についてのアンケートについては、回収にご協力いただきありがとうございました。おかげさまで回収率が9割以上となりました。いただいたご意見につきましてはこれから集計し、3学期にはまた保護者の皆様へお知らせするとともに、しっかりと今後の学校経営に生かしていきたいと思っております。なお、教職員の指導についてのアンケートにつきましては、回収したアンケートを私が全数開封して確認しましたが、特に気になるご指摘はありませんでした。

体育館前の掲示板を活用しています

既にお気づきの保護者・地域のみなさんも多いと思いますし、紹介がかなり遅くなりましたが、昨年度末に体育館の前に掲示板を設置しております。この掲示板は、多くの児童が登下校のときや休み時間や掃除の時間に目に触れる場所にと設置しました。内容については、10月までは教頭先生の方で季節感のある詩を選んで掲示してもらってましたが、2学期の後半からは子どもたちに作品を公募して掲示することにしています。最初に書いてくれた詩の中から6年生の今井健斗さんの作品を掲示していますが、子どもたちも登下校のときによく立ち止まって見ているようです。保護者や地域の皆様も、どうぞ学校へ来られた際にご覧いただければと思います。



商工会青年部のみなさんも朝のあいさつ運動に来ていただきました

前回の学校だよりでは本校の卒業生である中学生が朝のあいさつ運動にきてくれたことを紹介しましたが、12月11日(火)には、みやき町の商工会青年部のみなさんが、子どもたちの登校に合わせて朝のあいさつ運動にきていただきました。あいにく小雨がぱらつく中でのあいさつ運動でしたが、仕事前の時間帯に早朝から子どもたちに元気な挨拶をかけてくださり、子どもたちも、ちょっと照れながらも元気に挨拶を返すことができました。中には本校の保護者の方もいらっしゃったようですが、お忙しい中ありがとうございました。



5年生は今年も老人クラブの皆さんとしめ縄づくり

12月12日(水)は毎年行っている5年生のしめ縄作りでした。今年も三根校区の老人クラブの皆様12名に本校へ来て指導していただきました。当日は体育館の冷え込む中でしたし、ほとんどの子どもが初めて経験するしめ縄づくりでしたが、材料の準備からできあがりまで、一人一人完成まで丁寧に指導していただき、最後は全員立派なしめ縄を完成させることができました。子どもたちの手作りのしめ縄、どうぞ各ご家庭の玄関などの飾り付けに活用していただければと思います。



6年生は「租税教室」を行いました

小学校の社会科は、「私たちの暮らしを支える様々な仕事や制度」について学習しますが、私たちの暮らしを支える行政サービスの元になる「税金」については、6年生の3学期に学習する内容です。

そこで、毎年恒例で行っていますが、今年も12月17日(月)に6年生を対象にみやき町の税務課から学校へ来ていただき、「租税教室」として、税金の種類や仕組み、使われ方などについて、わかりやすく話していただきました。身近な「消費税」を題材に、「もし、税金がなかったら」という設定のアニメなどもあり、子どもたちも私たちの暮らしを支えるために税金が必要であることへの理解が深まったようです。



赤い羽根募金へのご協力ありがとうございました

最近北部九州豪雨や大阪の台風被害など、大きな自然災害の時に運営・ボランティア委員会の児童を中心に全校に協力を呼びかけてもらっていましたが、毎年行っている募金のひとつに「赤い羽根募金」があります。

赤い羽根募金共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。共同募金は、誰もが安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、

取り組まれています。今回も朝の時間帯を利用して運営・ボランティア委員会の子どもたちが募金活動を行いました。たくさんの子どもたちが募金を持ってきてくれ、我々職員の分と合わせた9,805円は、みやき町社会福祉協議会の担当者の方に直接手渡しできました。各ご家庭のご協力ありがとうございました。

